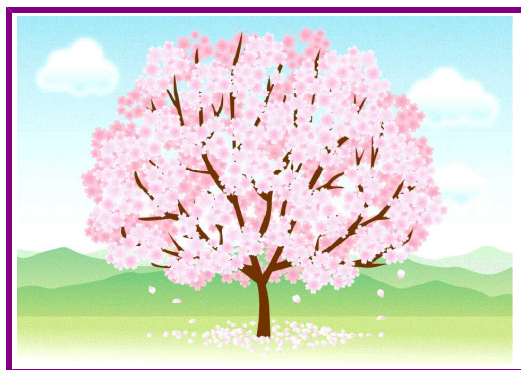


# めぐみイエス・キリスト教会

2019年4月14日(日)受難週第二主日礼拝  
週報「通算第451号」



2019年標題聖句

第Ⅱペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまづくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年4月14日(レント第二主日礼拝)

第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時

司会・奏楽 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌108 「丘に立てる荒削りの」 p. 150

【交読文】 No.32 詩篇第103篇 p. 905

【賛美Ⅱ】 新聖歌235 「罪重荷を除くは」 p. 356

【使徒信条・主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.12 「主イエスの十字架」

【聖書朗読】 **マタイの福音書21章1節～11節(新約p. 37下段)**

【祈 禱】

【説 教】 《しゅろの日曜日》 鈴木 竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※聖書箇所 **マタイの福音書21章1節～11節**

21:1 それから、彼らはエルサレムに近づき、オリーブ山のふもとのベテパゲまで来た。そのとき、イエスは、弟子をふたり使いに出して、

21:2 言われた。「向こうの村へ行きなさい。そうするとすぐに、ろばがつかわれていて、一緒にろばの子がいるのに気がつくでしょう。それをほどこいて、私のところに連れて来なさい。

21:3 もしだれかが何か言ったら、『主がお入用なのです。』と言いなさい。そうすれば、すぐに渡してくれます。」

21:4 これは、預言者を通して言われた事が成就する為に起こったのである。

21:5 「シオンの娘に伝えなさい。『見よ。あなたの王が、あなたのところにお見えになる。柔和で、ろばの背に乗って、それも、荷物を運ぶろばの子に乗って。』」

21:6 そこで、弟子たちは行って、イエスが命じられたとおりにした。

21:7 そして、ろばと、ろばの子とを連れて来て、自分たちの上着をその上に掛けた。イエスはそれに乗られた。

21:8 すると、群衆のうち大ぜいの者が、自分たちの上着を道に敷き、また、ほかの人々は、木の枝を切って来て、道に敷いた。

21:9 そして、群衆は、イエスの前を行く者も、あとに従う者も、こう言って叫んでいた。「ダビデの子にホサナ。祝福あれ。主の御名によって来られる方に。ホサナ。いと高き所に。」

21:10 こうして、イエスがエルサレムにはいられると、都中がこぞって騒ぎ立ち、「この方は、どういう方なのか。」と言った。

21:11 群衆は、「この方は、ガリラヤのナザレの、預言者イエスだ。」と言った。

### ●ポイント1. 紀元前500年に預言された「メシヤ預言」から

#### ※ゼカリヤ書9章9節「シオンの娘への呼びかけ」 (旧約p.1427下段)

9:9 シオンの娘よ。大いに喜べ。エルサレムの娘よ。喜び叫べ。見よ。あなたの王があなたのところに来られる。この方は正しい方で、救いを賜わり、柔和で、ろばに乗られる。それも、雌ろばの子の子ろばに。

### ●ポイント2. ルカとヨハネの福音書における平行記事から

#### ※ルカの福音書19章41節～44節 「神の訪れの時」(新約p.143下段)

#### ※ヨハネの福音書12章12節～16節「しゅろの木の子」(新約p.186下段)

### ●ポイント3. 私たち「証人」は何を証しするのか？

#### ※ピリピ人への手紙4章4節～5節「使徒パウロの命令」(新約p.355下段)

4:4 いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。

4:5 あなたがたの寛容な心を、すべての人に知らせなさい。主は近いのです。

## ◎先週のメッセージの概要【ひとりも失うことなく】

《「この人たちはこのままで去らせなさい。」とイエス様は言われました。

イエス様は十一弟子たちに、このように預言されました。

「あなたがたはみな、今夜、私のゆえにつまずきます。『私が羊飼いを打つ。すると、羊の群れは散り散りになる。』と書いてあるからです。」

これは、紀元前500年の、預言者ゼカリヤ書からの引用です。それ故、弟子たちが逃げ出したのは、実は彼らを守る為の神様の計画であったのです。

さて、三つの共観福音書には、この後の場面が描かれています。それは、イスカリオテのユダの裏切りの場面です。ヨハネは、それを省略しています。

「あなたが私に下さった者のうち、ただのひとりをも失いませんでした。」と言われた言葉は、主の祈りの言葉であって、ヨハネだけが聞いていました。

また、主イエス様は、このようにも祈られたのです。

「私はもう世にいなくなります。聖なる父。あなたが私に下さっているあなたの御名の中に、彼らを保って下さい。彼らのうち誰も滅びた者はなく、ただ滅びの子が滅びました。それは、聖書が成就するためです。」

私たちは、イエス様の言葉からイスカリオテのユダが最初から「滅びの子」であって、それゆえ滅びたと思ってしまうがちですが、そうではありません。この祈りには、ユダの悔い改めと戻って来ることの願いが込められています。

なぜなら、イスカリオテのユダも、父なる神様がイエス様に下さった者であり、また父なる神様と共にイエス様が、十二使徒として選ばれた者なのです。

ヨハネはこう書き記しています。

『神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠の命を持つ為である。』

父なる神様のご命令は、真に「永遠の命」です。主イエス様を信じて、すべての人が、永遠の命を受け取ることこそが、その願いでありご命令なのです。

「一人も失うことなく」この言葉は、神様の側からの言葉なのです。十字架の身代わりの犠牲によって買い戻され、そして生まれる前から選ばれた私たちを、一人も失うことがないように、本当に主イエス様は願っておられます。》

## ◎お知らせ

※次回4月21日(日)は、イースター礼拝となります。また次回「聖書の学びと祈り会」は4月17日(水)午後6時15分からです。